

# NPO☆Kyoken



## 通 信

☆特定非営利活動法人 教育研究所(不登校問題研究会事務局)77号 平成18年6月30日発行  
〒233-0013横浜市港南区丸山台2-26-20 TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742

URL: <http://kyoken.org/>

E-mail: [contact@kyoken.org](mailto:contact@kyoken.org)

---

22年間続いた不登校の子どもの教室を3月で一時お休みにし、NPO教研は4月より新たな形でスタートしました。

『不登校は病気ではありません』家族や時代の変化の波を受け、時代によって子どもの様子や心情は変わっていくようです。2000年から始まった文科省依託SSP研究、横浜市総合相談教育センターとの合同調査、現在、行っている文科省依託調査研究「岡山市調査」で見えるものは、爆発的な勢いで増えている新しいタイプのひきこもり（情緒的には問題がないが人間関係を引いてしまう）児童生徒に対し、従来のやり方では通用しないという結論でした。この結論に対して、研究者として臨床家として、どう向き合うのか。出した答えは…。

新たな不登校やひきこもりの児童生徒やニートの若者の学校・社会適応への対応方法を確立するための調査研究に今、全力で研究に没頭することでした。

しかし、調査研究もそれだけやっていると、机上の学問になってしまい現実には役立ちません。ですから、臨床は研究を生かし、最新の方法論で個別カウンセリング・グループカウンセリング・講演会・人間関係改善とネット依存からの脱出のための短期合宿生活など多数企画をしていきます。

みなさんのご参加をお待ちしております。また、富山宇奈月での若者自立塾は、漁業など新たな就労体験先も増え、自立塾終了者のほとんどが、就労に就き始めています。3ヶ月で人間は内面から変われることを強く実感してきました。

まだまだ、NPO教育研究所は伸び行く子どもや若者のために力を惜しまない所存です。

そのためにも、これからもみなさんの応援よろしくおねがいします！！！！

---

# 新連載

この連載文は「教育新聞社・WEBサイト子悩みドットコム」に2005年1月から連載されたもので大きな反響がありました。是非、お読み下さい。

## インターネットと若者の心理 第1回

牟田武生

楽天・ライブドア・ソフトバンク・・・この会社名を昨年夏に全部知っていた中年は何人いたのだろうか。今年、プロ野球に参入したり、参入を希望した企業名だ。ひと昔前、プロ野球球団は映画会社、百貨店、電鉄会社、新聞社、食品会社など、その時代の花形産業の会社が知名度を上げる宣伝広告に経営をしていた。だから、戦前、戦後、平成と時代ごとに変わる球団経営の変遷はその時代の経済社会の変化を映す鏡にもなる。

新たに参入する企業はいずれもIT関連企業だ。中高生にこれらの会社について質問すると、社長の個人情報から企業の業務内容まで、詳細に話し始める子どもが多いのには驚かされる。

大人にとってパソコンやインターネットは文章を作成したり、メールを出す、プレゼンテーションに使うと言った仕事の道具と認識しているので使用するパソコンのOSソフトに関心がある。若者や子ども達にとっては、ゲームをする、お絵かきをする、チャットをする、気に入った情報から情報へとネットサーフィンをする、DVDを見るなど、遊び道具の一つという認識をしているのでそれらを提供するサイトや管理会社に関心がある。このように大人と若者や子どもでは、パソコンやインターネットを利用する認識の違いが大きいのではないだろうか。

インターネットは配信者と受信者の間に管理会社はあるがほとんど規制がない。そのため、若者や子ども達にとって過激な性描写や出会い系サイト、ゲーム依存になる可能性があるオンラインゲーム(ネットゲーム)など、非行・犯罪やひきこもりの温床になる。さらに集団自殺の引き金になるような有害で、危険なものは古い固定観念を持つ大人の価値観で考えると、規制して若者や子ども達から取り上げれば良いと言う人も大勢いる。また、一部過激なマスコミでもそのようなことを言いはじめている。

一方インターネットは市民が世界に向けて、国や権力者から管理されないで、情報を自由に発信し、世界中の市民が情報の共有化が図れることができる人類史上初めてのメディアなので規制なんてとんでもないことだという意見も正論だ。これらの発言をする人達は、インターネット社会は自由が大原則なので利用者が、たとえ子どもでも自己責任

の原則だから、自分で見たり参加したりするのは自由だけど、自分の責任は自分がとるのは当然のことだと言う。

いずれにせよ、インターネットの社会は世界の潮流を考えても否定できないところまで来ている。しかし、インターネットに関しての大人と若者や子どもの意識のズレを認識し、インターネットが及ぼす、若者や子どもの心理的影響を理解し、情報モラルの教育を充分にしていかなないと、前述のような論争は大きくなるばかりではないだろうか。そして、インターネットに関しての大人と若者や子どもの意識の違いも大きくなっていくばかりのような気がする。

そこで、このシリーズでは、ネットゲーム依存とひきこもり、ネット心中の心理、出会い系サイトを利用した援助交際の心理、チャットやメールなどコミュニケーションに依存する。若者や子どもが陥り易いケースを取り上げながら、その心理と対応方法について考えていきたい。

次回からは「ネットゲーム依存とひきこもり(1)」をお送りする。

2005.1.20 掲載分

### 宇 奈 月 自 立 塾

若者自立塾宇奈月寮・寮長牟田光生の日記が教研ホームページで掲載中です。  
寮生活の様子をお知らせしていますので、どうぞアクセスしてみてください。

宇奈月自立塾 寮長 牟田 光生

## 🌸 グループカウンセリングのお知らせ 🌸

グループは3種類に分けました。それぞれの目的・状態に応じたグループに参加して下さい。

- ①不登校・ひきこもりからの脱出  
不登校の子ども達の理解と対応を学ぶための保護者向けのグループです。学校や社会にいかにか復帰するかをテーマとしています。
- ②ネット依存からの脱出  
ネット依存になってしまった子どもや若者を持つ保護者向けのグループです。どうネット依存から脱出するかがテーマです。

### ③ニートからの脱出

ニートの若者を抱える親の支援グループです。ニート脱出のために自立塾にどうつなげていくかがテーマとなります。

講師 NPO法人教育研究所

教育コンサルタント 牟田 武生

場所：NPO教育研究所 定員10名

日時は年間予定表を参考にされて、お申込み下さい。

※ 参加にはNPO教研の会員になる必要があります。

### 若者自立塾個別説明会開催のお知らせ

日程：平成18年7月1日（土）

時間：午後3時10分～午後3時50分まで

場所：ゆめおおおかオフィスタワー内

ウィリング横浜123号室

（京急、横浜市営地下鉄上大岡駅徒歩1分） ※自立塾については 財団法人 社会経済生産性本部 若者自立塾支援センター

<http://www.jiritsu-juku.jp>をご覧ください。お申し込み、詳しいお問い合わせは教研まで

講演会は保護者や教師など専門家の理解を深める目的で年間を通じて行っています。

### 「不登校・ひきこもりへの予防」

—子どもをひきこもりから救う親子関係、夫婦が土台—

日程/平成18年7月1日（土）

ゆめおおおかオフィスタワー内ウィリング 横浜12F 123

講師／牟田 武生 教育コンサルタント

NPO法人教育研究所理事長

学年を超える継続する不登校の小学6年生49.9%、中学3年生65.8%の高率を示している。（文科省調査）この現象は学年が上がるにつれて継続する不登校が増え、ひきこもりになって、長期化していくことを現している。なかには思春期を自分の部屋だけで過ごし40代になった人もいる。

そのような事例を目にし、両親は腹の中では「やっかいばらい」と思い、建前上は「本人の自立のため」という名目で、嫌がる本人に対し強制的に施設に収容させる名古屋方式に従う親も多い。

不登校・ひきこもりの歴史30年間を見ても、“矯正する”という考え方で成功した事例は少ないばかりか、一生の付き合いになる親子関係に重大な亀裂が生じ、事態が最悪の結果になることも多い。

ひきこもりは反社会的な行動ではなく、非社会的行動なので、外からの矯正より自分自身の内面から変わることが大切だ。

そのための大前提として、「なぜ、若者はひきこもるのか」を30余年に渡り臨床及び調査研究を続けている講師とともに一緒に考えていく。

受け付け開始：13時

第一部 講演：13時10分～14時40分

第二部 質疑応答：14時45分～15時05分

終了：15時05分

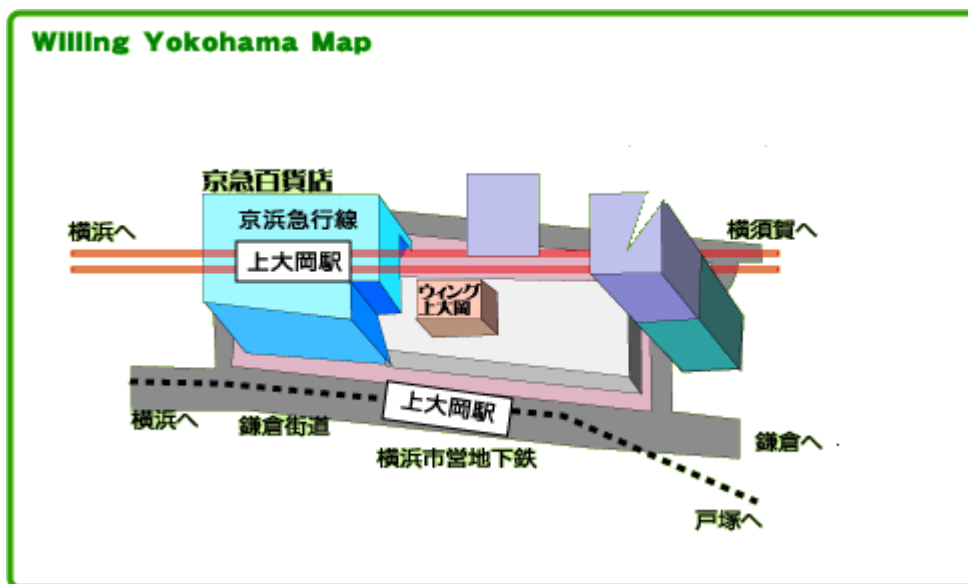
参加費：1000円

定員60名先着

～講演会は初めて参加される方でも分かるような形でお話を進めていきます。～

講演会&自立塾説明会会場

ゆめおおおかオフィスタワー内ウイング横浜12F 123



## ☆お母さんたちの交流会のお知らせ☆



「毎月5～6人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています  
同時に親の会ミニ図書館を開催。

・会員の方などなたでも利用可。  
不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が300冊以上あります。

ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。

(卒業生の母より)

## ☆インターネット連載☆

下記にご紹介する牟田先生の連載のほか、第一線で活躍させる方々の連載が、無料で提供されています。ぜひ、アクセスしてみてください！

<http://www.konayami.com/index.html>

### ○教育・子どもの25年史

神戸事件の精神鑑定を読み解く

### ○インターネット依存からの脱出を

現在好評連載しています。

### ☆NPO教研会員継続手続きのお願い☆

05年度に手続きいただいた、NPO教研の会員資格が、3月末で終了致しています。それにともない06年度も会員となり、これまでと同様に教研の会員として、教研活動を支持支援していただければと思います。

お手続きは同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入いただき、年会費5000円をお支払いいただくというものです。(まだ06年度も会員になられてない方だけにお送りしています。)

あるいは、下記の口座にやはり会費5000円をお支払いいただく方法もございます。その場合は、必ずご自身のお名前を入れていただくよう、よろしくお願い致します。

会費納入口座は 横浜銀行 上永谷支店 (323)  
(普) 1442815

会員の方には、

○カウンセリング料の割引1万5千円

→1万円、

○年5回程度の定期通信の発行

○学習会、講演会などのイベントのお知らせ

○薬のコンピュータ検索

○各検査 ※知能・YG・不安要因・親子関係・エゴグラム等 検査料 各500円(カウンセリングと併用してください)

○教研関連書籍の割引販売

○お母さんたちのミニ図書館の利用

○お母さんたちのおしゃべり会への参加

○宿泊研修、就労体験などへの参加

06年会費は、07年3月末まで有効となります。



夏期セミナー（教師&専門家のための不登校問題研修）  
のボランティアを募集しています。  
期間7月31日～8月4日、国立オリンピック記念青少年総合センター  
大ホールで、書籍販売や会場整理などの  
ボランティアを募集しています。

**★海外人間関係トレーニングキャンプは随時計画しています。**

ネット依存・ひきこもり長期化された方の合宿を夏・冬・春の一週間程度の日程で  
宇奈月若者自立塾にて行う予定です。興味のある方は、是非お問い合わせ下さい。  
また、ホームページなどでもお知らせいたします。

巻末コラム

先日、「兄を若者自立塾に行かせたいのですが…」という電話が女性からかかってきた。

「お兄さんは、お幾つですか…」と尋ねる。

無言が暫く続いた後、

「不登校になって、高校を中退した後、長い間、家にひきこもってしまいました。」

「どのくらいひきこもってしまったのですか？」

「今、兄は50歳です。ですから、35年ぐらいになります。」

「その間、家族が病院とかカウンセリングなどに相談に行かなかったのですか？」

「父が早く他界したもので、私が嫁に行く前に母一人に任せていくのは不安なので、15年  
くらい前に牟田先生の所に一回だけ相談に行きました。その後、結婚し、子どもが生まれ  
たりしているうちに時間が経ってしまいました。兄は一度も働いたことがなく、母の僅か  
な年金だけで年老いた母と暮らしています。母が『もう歳で私は限界だ。あの子（兄）を  
残して死ねない』と泣いて泣くんです。そして、「まだ、兄が若い時、カウンセリングに継  
続して通い何とかすればよかった。自分の子育て、人生は失敗だった後悔していると、母  
に言われると、何とかしてあげたいと思うのですが…」。

電話を受けながらとても他人事ではすまされない。どうすれば良いのか？

不登校は尾を引いている。

次回発行予定は2006年9月中旬です